

介護保険に関するアンケート調査結果概要について

1 調査の目的

第9期鎌倉市高齢者保健福祉計画（令和6年度から令和8年度）の策定に向けて、当該期間中における介護保険サービスの在り方の検討に向けた基礎資料の一つとするため、主に対象者の在宅生活や介護保険サービス、介護者の状況について調査しました。

2 調査概要

| | 令和4年度 | 令和元年度 |
|-------|---|---|
| 調査対象者 | 令和4年12月1日現在、要支援・要介護認定を受けている方（特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム及び認知症高齢者グループホームの施設に住所がある方を除く）の中から約600人を抽出。 | 令和元年12月1日現在、要支援・要介護認定を受けている方（特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム及び認知症高齢者グループホームの施設に住所がある方を除く）の中から約600人を抽出。 |
| 抽出方法 | 上記調査対象者のうち、下記調査期間中に更新申請または区分変更申請に伴う認定調査を受けた方。 | 上記調査対象者のうち、下記調査期間中に更新申請または区分変更申請に伴う認定調査を受けた方。 |
| 調査方法 | 認定調査員の訪問、聴き取りによる調査。 | 認定調査員の訪問、聴き取りによる調査。 |
| 調査期間 | 令和4年12月14日～令和5年2月17日 | 令和2年1月6日～3月9日 |
| 回収数 | 602件 | 607件 |

3 令和元年度との比較

両調査結果を比較して、主に各回答の順位の傾向や割合に、有意と思われる変化が見られた問について記載しました。(問の中の全ての選択肢を記載しているものではありません。)

【A票】

| | 令和4年度 | 令和元年度 |
|--|---|---|
| 問5 | 50代 …27.9% | 50代 …31.3% |
| 主な介護者の方の年齢 | 60代 …25.9% | 60代 …21.6% |
| | 70代 …14.4% | 70代 …18.8% |
| | 80代 …21.5% | 80代 …20.3% |
| | | |
| 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等の上位 | 外出の付き添い、送迎等 …58.8% 服薬 …42.8% 衣服の着脱 …29.7% 認知症状への対応 …28.4% 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） …24.6% 日中の排泄 …22.4% 屋内の移乗・移動…21.5% | 外出の付き添い、送迎等 …59.0% 服薬 …36.7% 衣服の着脱 …22.9% 認知症状への対応 …22.7% 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） …17.7% 日中の排泄 …15.8% 屋内の移乗・移動…16.2% |
| 問7 家族や親族に、介護を理由に過去1年以内に仕事を辞めた方がいるか | 主な介護者が辞めた …3.1% 主な介護者以外の家族・親族が辞めた …0.0% | 主な介護者が辞めた …5.2% 主な介護者以外の家族・親族が辞めた …0.6% |
| 問8「現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス」と問9「今後在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」を比較した際の差が大きい項目上位3つ | 調理 …14.6% 買い物（宅配は含まない） …12.4% 掃除・洗濯 …10.8% | 移送サービス …15.9% 外出同行（通院・買い物など） …12.6% 見守り、声掛け …10.5% |

| | 令和4年度 | 令和元年度 |
|--|--|---|
| 問11 現在抱えている傷病 | 認知症 …28.1% 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） …21.3% | 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） …24.4% 認知症 …22.6% |
| 問13 （住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しているか | 利用している …68.1% 利用していない …29.9% | 利用している …77.4% 利用していない …21.8% |
| 問14 介護保険サービスを利用していない理由 | サービスを利用するほどの状態ではない…32.2% 本人にサービス利用の希望がない …27.2% 家族が介護するため必要ない …7.2% 利用料を支払うのが難しい …2.2% 利用したいが手続きや利用方法が分からない …2.2% 以前利用したサービスに不満があった …1.7% | サービスを利用するほどの状態ではない…38.3% 本人にサービス利用の希望がない …31.6% 家族が介護するため必要ない …12.8% 利用料を支払うのが難しい …1.5% 利用したいが手続きや利用方法が分からない …6.8% 以前利用したサービスに不満があった …3.0% |

【B票】

| | 令和4年度 | 令和元年度 |
|--------------------|--|--|
| 問1 主な介護者の勤務形態 | フルタイム …26.4% パートタイム …17.7% 働いていない …49.0% | フルタイム …22.5% パートタイム …18.1% 働いていない …53.8% |
| 問2 介護の際の働き方の調整等 | 休暇を取りながら …12.6% 在宅勤務を利用しながら …15.1% | 休暇を取りながら …16.0% 在宅勤務を利用しながら …8.0% |

| | 令和4年度 | 令和元年度 |
|--|---|--|
| 問3 勤め先からどのような支援があれば仕事と介護を両立できるか | 労働時間の柔軟な選択 …26.1% 介護休暇等の制度の充実 …22.1% 制度を利用しやすい職場づくり …20.1% 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク等） …12.6% 介護を利用している従業員への経済的な支援 …12.1% | 労働時間の柔軟な選択 …21.3% 介護休暇等の制度の充実 …21.3% 制度を利用しやすい職場づくり …15.4% 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク等） …6.4% 介護を利用している従業員への経済的な支援 …8.5% |
| 問4 今後も働きながら介護を続けていけそうか | 問題なく続けていける …22.1% 問題はあるが続けていける …49.7% やや難しい …9.5% かなり難しい …3.5% | 問題なく続けていける …27.1% 問題はあるが続けていける …45.2% やや難しい …10.6% かなり難しい …3.7% |
| 問5 現在の生活を続けていくに当たって、主な介護者が不安に感じる介護等 | 認知症状への対応 …30.4% 外出の付き添い、送迎等 …23.3% 夜間の排泄 …21.3% 日中の排泄 …17.5% 入浴・洗身 …13.5% 屋内の移乗・移動 …9.3% 服薬 …7.1% 食事の準備（調理等） …25.1% その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） …16.0% 金銭管理や生活面に必要な諸手続き …6.9% | 認知症状への対応 …28.1% 外出の付き添い、送迎等 …30.0% 夜間の排泄 …21.0% 日中の排泄 …19.4% 入浴・洗身 …21.0% 屋内の移乗・移動 …15.8% 服薬 …14.3% 食事の準備（調理等） …24.0% その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） …25.1% 金銭管理や生活面に必要な諸手続き …15.8% |

4 令和元年度との比較に基づく分析

【A票】

| | |
|---|--|
| <p>問5 主な介護者の方の 年齢</p> | <p>70代の方の割合は減少しているものの60代及び80代の方の割合は増加しており、介護者の方の高齢化が進んでいると言える。</p> |
| <p>問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等の上位</p> | <p>順位の傾向に変化は見られないが、服薬以下の割合が概ね5%以上増加しており、在宅でこれらの介護を実施している方が増加している。</p> |
| <p>問7 家族や親族に、介護を理由に過去1年以内に仕事を辞めた方がいるか</p> | <p>順位の傾向に変化は見られないが、過去1年間に仕事を辞めた主な介護者の割合は減少しており、このことは後の問の結果からも伺えるとおおり、在宅勤務の増加等働き方に変化があり、このことが仕事と介護の両立に寄与しているのではないかと推測される。</p> |
| <p>問8「現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス」と問9「今後在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」を比較した際の差が大きい項目上位3つ</p> | <p>差が大きい項目上位3つとも変化があり、調理や掃除・洗濯等が上位になったのは、在宅勤務の増加等により主な介護者の方と要介護者が共に過ごす時間が増加したことが要因の一つではないかと推測される。</p> |
| <p>問11 現在抱えている傷病</p> | <p>認知症の割合が1位となり、このことは後期高齢者人口が増加に伴うものと考えられる。</p> |
| <p>問13 (住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しているか</p> | <p>利用している方の割合が9.3%減少し、利用していない方の割合が8.1%増加している。</p> |

| | |
|-----------------------------------|--|
| 問14 介護保険サービス を利用していない 理由 | サービスを利用するほどの状態ではない方やサービスを希望されない方の割合が増加しており、介護予防の取組みが功を奏しているものと思われる。また、介護保険サービスの周知や質の向上等の取組みの効果も表れているのかもしれない。 |
|-----------------------------------|--|

【B票】

| | |
|--|---|
| 問1 主な介護者の勤務 形態 | フルタイムの方の割合が 3.9%増加し、働いていない方の割合が 4.8%減少している。在宅勤務の浸透により仕事と介護の両立がしやすくなったのかもしれない。 |
| 問2 介護の際の働き方 の調整等 | 休暇を取りながら勤務の割合が減少している一方で在宅勤務の割合が増加しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による働き方の変化が見て取れる。 |
| 問3 勤め先からどのよ うな支援があれば 仕事と介護を両立 できるか | 働き方の変化に伴い、休暇よりも勤務時間や勤務場所の多様化が求められているとともに、制度が整い始めているからこそ、それらを利用しやすい環境がより求められている状況となっている。 |
| 問4 今後も働きながら 介護を続けていけ そうか | 問題なく続けていると考えている方の割合は減少しているものの、続けていけると考えている方の全体の割合はほぼ変わらない。一方で、難しいと考えている方の全体の割合は 1.3%減少している。 |
| 問5 現在の生活を続け ていくに当たって、 主な介護者が不安 に感じる介護等 | 認知症状への対応や食事の準備（調理等）は増加したが、その他の項目の割合についてはほぼ同じか大きく減少している。介護サービスの周知等により、不安に感じる項目が減少したのかもしれない。 |